

知っていましたか？

「図書館の自由に関する宣言」にかかわった豊橋市図書館

有川浩さん原作の映画『図書館戦争』にも登場する「図書館の自由に関する宣言」。作家の有川浩さんは図書館で「図書館の自由に関する宣言」を見かけたことがきっかけとなり、この本を書かれたそうです。この宣言は昭和 29（1954）年の全国図書館大会で採択されたもの（昭和 49 年改訂）で、今日では全国の図書館にも実際に掲げ



られています。映画では「図書館の自由に関する宣言法」として若干アレンジされて登場します。この「図書館の自由に関する宣言」の発端となった図書館と中立の討論（いわゆる「中立論争」）のきっかけとなったのが豊橋市図書館（当時は豊橋市立図書館）の職員間でおきた閲覧証をめぐる議論でした。

この時の議論を契機として、日本図書館協会は『図書館雑誌』上に「図書館と中立についての討論を提案する」と銘打って幅広く意見を募集し、2年間にわたる議論のうえ「図書館の自由に関する宣言」が採択されたのでした。

このように豊橋市図書館と「図書館の自由に関する宣言」は縁が深いといえます。